

令01原機(科保)060
令和元年12月26日

原子力規制委員会 殿

茨城県那珂郡東海村大字舟石川7-6-5番地1
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
理事長 児玉 敏雄

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所

核燃料物質使用施設等保安規定の変更認可申請について

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第57条第1項の規定に基づき、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定について、別紙のとおり変更認可を申請します。

核燃料物質使用施設等保安規定の変更
変更の内容及び理由

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定の主な変更の内容及び理由は、以下のとおりである。なお、変更の内容の詳細は別添に示す。

1. 変更の内容

- (1) 第1編 第7条 高減容処理技術課長の職務について、解体分別保管棟の解体室又は減容処理棟において処理するために保管廃棄施設から取り出した放射性廃棄物の運搬を追加する。また、放射性廃棄物管理第1課長の職務のうち、放射性廃棄物の運搬について、高減容処理技術課長が行う運搬を除くことを追加する。
- (2) 第3編 第16条 解体分別保管棟の解体室又は減容処理棟において処理するために行う廃棄物パッケージ等の取出し及び運搬は、高減容処理技術課長が行うこととする。また、高減容処理技術課長及び放射性廃棄物管理第1課長が、処理するために取り出した廃棄物パッケージ等を周辺監視区域内において運搬するときの措置を追加する。
- (3) 第3編 第28条の2 保管廃棄施設・Lに保管廃棄している廃棄物パッケージ等の健全性確認について、以下の変更を行う。
 - 1) 対象ピット及びその区分並びに健全性確認の方法を明確化する。
 - 2) 健全性確認を行うピット上に設置する専用の保管体取出装置について、一時的な第1種管理区域の指定及び解除に係る記載を削除する。
 - 3) ピットから廃棄物パッケージ等を取り出すときの容器の破損、放射性廃棄物の漏出を防止するための措置を追加する。
- (4) 第3編 第30条 点検等において異常を認めた場合の措置として、健全性確認における容器の点検において異常を認めた場合を追加する。

2. 変更の理由

- (1) 解体分別保管棟の解体室又は減容処理棟において処理する放射性廃棄物の取出し及び運搬に係る職務の範囲を見直したため。
- (2) 高減容処理技術課長及び放射性廃棄物管理第1課長が、処理するために保管廃棄施設から取り出した廃棄物パッケージ等を周辺監視区域内において運搬するときの措置を明確化するため。
- (3) 保管廃棄施設・Lに保管廃棄している廃棄物パッケージ等の健全性確認の方法を変更したため。
- (4) 健全性確認における容器の点検において、異常を認めた場合の措置を明確化するため。

3. 施行期日

この規定は、原子力規制委員会の認可日の翌日から施行する。

以上

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定
新旧対照表

第1編 総則

令和元年12月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定 新旧対照表【第1編 総則】

変 更 前	変 更 後	備 考
<p>第1編 総則</p> <p>目次（省略）</p> <p>第1章（省略）</p> <p>第2章 保安管理体制 第1節 組織及び職務</p> <p>第6条（省略） （職務）</p> <p>第7条 使用施設等の保安に関する各職位と職務は次のとおりとする。 （1）～（22）（省略） （23）高減容処理技術課長は、バックエンド技術部長が行う統括に関する庶務の業務並びに施設管理者として、第3編別表第1の3に掲げる廃棄物処理場本体施設の使用及び保守並びに区域管理者として、廃棄物処理場（解体分別保管棟（ただし、保管室を除く。）及び減容処理棟）の管理区域に係る放射線管理に関する業務を行う。また、廃棄物処理場（解体分別保管棟の解体室及び減容処理棟）における放射性廃棄物の貯蔵及び処理に関する業務を行う。</p> <p>（24）放射性廃棄物管理第1課長は、施設管理者として、第3編別表第1に掲げる廃棄物処理場本体施設の使用及び保守並びに区域管理者として、廃棄物処理場（第2廃棄物処理棟、解体分別保管棟（ただし、保管室を除く。）及び減容処理棟を除く。）の管理区域に係る放射線管理に関する業務を行う。また、放射性廃棄物の運搬、廃棄物処理場（第2廃棄物処理棟、解体分別保管棟の解体室及び減容処理棟を除く。）における放射性廃棄物の貯蔵、処理及び保管廃棄並びに保護衣の汚染の除去に関する業務を行う。</p> <p>（25）～（39）（省略）</p> <p>2～4（省略）</p> <p>第8条～第9条（省略） 第2節（省略） 第3節（省略）</p> <p>第3章～第10章（省略）</p> <p>別表第1～別表第6（省略） 別図第1（省略）</p>	<p>第1編 総則</p> <p>目次（変更なし）</p> <p>第1章（変更なし）</p> <p>第2章 保安管理体制 第1節 組織及び職務</p> <p>第6条（変更なし） （職務）</p> <p>第7条 使用施設等の保安に関する各職位と職務は次のとおりとする。 （1）～（22）（変更なし） （23）高減容処理技術課長は、バックエンド技術部長が行う統括に関する庶務の業務並びに施設管理者として、第3編別表第1の3に掲げる廃棄物処理場本体施設の使用及び保守並びに区域管理者として、廃棄物処理場（解体分別保管棟（ただし、保管室を除く。）及び減容処理棟）の管理区域に係る放射線管理に関する業務を行う。また、<u>放射性廃棄物の運搬（ただし、第3編第16条第2項に基づく放射性廃棄物の運搬に限る。）並びに廃棄物処理場（解体分別保管棟の解体室及び減容処理棟）における放射性廃棄物の貯蔵及び処理に関する業務を行う。</u></p> <p>（24）放射性廃棄物管理第1課長は、施設管理者として、第3編別表第1に掲げる廃棄物処理場本体施設の使用及び保守並びに区域管理者として、廃棄物処理場（第2廃棄物処理棟、解体分別保管棟（ただし、保管室を除く。）及び減容処理棟を除く。）の管理区域に係る放射線管理に関する業務を行う。また、放射性廃棄物の運搬<u>（ただし、前号の規定による運搬を除く。）</u>、廃棄物処理場（第2廃棄物処理棟、解体分別保管棟の解体室及び減容処理棟を除く。）における放射性廃棄物の貯蔵、処理及び保管廃棄並びに保護衣の汚染の除去に関する業務を行う。</p> <p>（25）～（39）（変更なし）</p> <p>2～4（変更なし）</p> <p>第8条～第9条（変更なし） 第2節（変更なし） 第3節（変更なし）</p> <p>第3章～第10章（変更なし）</p> <p>別表第1～別表第6（変更なし） 別図第1（変更なし）</p>	<p>高減容処理技術課長の職務に、処理するために取り出した放射性廃棄物の運搬を追加 前号で高減容処理技術課長の職務に追加した事項を除外</p>

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定
新旧対照表

第3編 廃棄物処理場の管理

令和元年12月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定 新旧対照表【第3編 廃棄物処理場の管理】

変更前	変更後	備考
<p>第3編 廃棄物処理場の管理</p> <p>目次（省略）</p> <p>第1章（省略）</p> <p>第2章 運転管理</p> <p>第1節～第5節（省略）</p> <p>第6節 保管廃棄</p> <p>第15条（省略）</p> <p>（廃棄物パッケージ等の取出し）</p> <p>第16条 高減容処理技術課長は、別表第7に掲げる保管廃棄施設に保管廃棄されている廃棄物パッケージ等を解体分別保管棟の解体室又は減容処理棟において処理しようとするときは、<u>廃棄物パッケージ等の種類及び数量を明らかにして保管廃棄施設からの取り出しを放射性廃棄物管理第1課長に依頼しなければならない。</u></p> <p>2 <u>放射性廃棄物管理第1課長は、前項の依頼を受けたときは、依頼された廃棄物パッケージ等について、取り出すことが可能であることを確認しなければならない。</u></p> <p>3 <u>放射性廃棄物管理第1課長は、取り出した廃棄物パッケージ等を、解体分別保管棟の解体室又は減容処理棟において高減容処理技術課長に引き渡すものとする。</u></p> <p>4 <u>放射性廃棄物管理第1課長は、解体分別保管棟の解体室又は減容処理棟において引き渡した廃棄物パッケージに含まれる廃棄物の発生場所の区分を、高減容処理技術課長に通知し、容器ごとに表示しなければならない。</u></p> <p>第16条の2（省略）</p> <p>第7節～第8節（省略）</p> <p>第3章 保守管理</p> <p>第18条～第28条（省略）</p> <p>（保管廃棄施設・Lに保管廃棄している廃棄物パッケージ等の健全性確認）</p> <p>第28条の2 <u>放射性廃棄物管理第1課長は、保管廃棄施設・Lに保管廃棄している廃棄物パッケージ等のうち、容器の健全性が損なわれているおそれのある廃棄物パッケージ等の点検・補修（以下「健全性確認」という。）を行うときは、次の各号に掲げる措置を講じなければならない。</u></p>	<p>第3編 廃棄物処理場の管理</p> <p>目次（変更なし）</p> <p>第1章（変更なし）</p> <p>第2章 運転管理</p> <p>第1節～第5節（変更なし）</p> <p>第6節 保管廃棄</p> <p>第15条（変更なし）</p> <p>（廃棄物パッケージ等の取出し）</p> <p>第16条 高減容処理技術課長は、別表第7に掲げる保管廃棄施設に保管廃棄されている廃棄物パッケージ等を解体分別保管棟の解体室又は減容処理棟において処理するために<u>取り出すときは、事前に放射性廃棄物管理第1課長の承認を得なければならない。</u></p> <p>2 <u>高減容処理技術課長は、前項により取り出した廃棄物パッケージ等を周辺監視区域内において運搬するときは、自らの指定する運搬車両を用い、第2編第47条第4項第1号及び第2号の規定に定めるところにより行わなければならない。</u></p> <p>3 <u>放射性廃棄物管理第1課長は、前条第2項の規定に従って保管廃棄した固体廃棄物を、別表第5に掲げるところの処理設備において処理するために取り出し、周辺監視区域内において運搬するときは、第2編第47条第4項及び第9条第2項第1号の規定に定めるところにより行わなければならない。</u></p> <p><u>（削る）</u></p> <p>第16条の2（変更なし）</p> <p>第7節～第8節（変更なし）</p> <p>第3章 保守管理</p> <p>第18条～第28条（変更なし）</p> <p>（保管廃棄施設・Lに保管廃棄している廃棄物パッケージ等の健全性確認）</p> <p>第28条の2 <u>放射性廃棄物管理第1課長及び高減容処理技術課長は、保管廃棄施設・Lに長期に保管廃棄している廃棄物パッケージ等について、容器の健全性を維持するための健全性確認を行う。</u></p> <p>2 <u>健全性確認は、別表第19の右欄に掲げるピットに保管廃棄している廃棄物パッケージ等（容器がドラム缶のものに限る。）を対象とし、同表の中欄に掲げる区分の考え方に応じて、同表の左欄に掲げる優先度区分A及び優先度区分Bに区分する。</u></p> <p>3 <u>放射性廃棄物管理第1課長は、優先度区分Aのピットに保管廃棄している廃棄物パッケージ等の健全性確認を、次の各号に定めるところにより行わなければならない。</u></p>	<p>高減容処理技術課長が廃棄物パッケージ等の取出し及び運搬を行えるよう変更</p> <p>放射性廃棄物管理第1課長が処理するために行う廃棄物パッケージ等の取出し及び運搬を明確化</p> <p>記載の適正化</p> <p>健全性確認の優先度区分を明確化</p> <p>優先度区分Aの健全性確認について明確化</p>

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定 新旧対照表【第3編 廃棄物処理場の管理】

変更前	変更後	備考
<p>(1) 健全性確認を行うピットの上部には、<u>雨よけ兼汚染拡大防止用の専用の保管体取出装置(以下「上屋」という。)を設けるとともに、上屋内を第2編第10条第3項第4号に基づき第1種管理区域に指定すること。</u></p> <p>(2) <u>ピットから取り出した廃棄物パッケージ等は、上屋内において容器の外観確認及び汚染検査を行うこと。</u></p> <p>(3) <u>前号の外観確認及び汚染検査において、容器に著しい腐食、放射性廃棄物の漏出又は汚染が確認されたときは、当該容器をビニール養生又は運搬容器に収納した後、解体分別保管棟又は減容処理棟に搬入し、新しい容器への詰替え、オーバーパック等を行うこと。</u></p> <p>(4) <u>第2号の外観確認において、容器に腐食が確認されたが、当該腐食が軽微であるときは、上屋内において当該腐食部の錆取り、塗装等の補修を行うことができる。</u></p> <p>(5) <u>ピットから廃棄物パッケージ等を全て取り出した後、第1号において指定した第1種管理区域を解除するために必要な汚染検査等の措置を行うこと。</u></p>	<p>(1) 健全性確認を行うピットの上部には、<u>専用の保管体取出装置(以下「上屋」という。)を設置する。</u></p> <p>(2) <u>ピットから廃棄物パッケージ等を取り出すときは、ピット内で容器の外観を確認し、必要に応じて、容器の破損、放射性廃棄物の漏出を防止するための措置を講じた上で取り出す。</u></p> <p>(3) <u>ピットから廃棄物パッケージ等を取り出した後、上屋内で容器の点検を行い、さびの状況を確認する。</u></p> <p>(4) <u>容器の点検が終了した廃棄物パッケージ等は、解体分別保管棟の解体室又は減容処理棟へ運搬し、高減容処理技術課長に引き渡す。このとき、前号の点検において著しいさびが確認された容器は、当該容器をビニールで養生するか、又は運搬容器に収納した上で運搬する。</u></p> <p>(削る)</p> <p>(削る)</p> <p>4 <u>高減容処理技術課長は、前項第4号により引き取った廃棄物パッケージ等の健全性確認を、次の各号に定めるところにより行わなければならない。</u></p> <p>(1) <u>容器の蓋を開け、湿潤な状態の放射性廃棄物の有無を確認する。</u></p> <p>(2) <u>前号で湿潤な状態の放射性廃棄物を確認したときは、当該放射性廃棄物を除去する。</u></p> <p>(3) <u>前項第3号の点検において、著しいさびが確認された容器は、放射性廃棄物を取り出して新しい容器へ詰め替えるか、又は容器ごと新しい容器へ収納する。</u></p> <p>(4) <u>前項第3号の点検において、軽微なさびが確認された容器は、さびの除去、容器への塗装等により補修する。</u></p> <p>(5) <u>前各号の措置により健全性確認が終了した廃棄物パッケージ等は、解体分別保管棟の解体室又は減容処理棟にて、放射性廃棄物管理第1課長に引き渡す。</u></p> <p>5 <u>放射性廃棄物管理第1課長は、優先度区分Bのピットに保管廃棄している廃棄物パッケージ等の健全性確認を、次の各号に定めるところにより行わなければならない。</u></p> <p>(1) <u>ピットから廃棄物パッケージ等を取り出すときは、ピット内で容器の外観を確認し、必要に応じて、容器の破損、放射性廃棄物の漏出を防止するための措置を講じた上で取り出す。</u></p> <p>(2) <u>ピットから廃棄物パッケージ等を取り出した後、ピット近傍で容器の点検を行い、さびの状況を確認する。</u></p>	<p>一時的な第1種管理区域の指定に係る記載を削除</p> <p>取出し時の容器の破損、放射性廃棄物の漏出を防止するための措置を追加</p> <p>記載の適正化</p> <p>高減容処理技術課長への廃棄物パッケージ等の引渡しを明確化</p> <p>補修を行う作業場所の見直し</p> <p>一時的な第1種管理区域の解除に係る記載を削除</p> <p>高減容処理技術課長が行う健全性確認を明確化</p> <p>優先度区分Bの健全性確認について明確化</p>

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定 新旧対照表【第3編 廃棄物処理場の管理】

変更前	変更後	備考
<p>2 放射性廃棄物管理第1課長は、健全性確認を行うときは、作業要領書を作成し、バックエンド技術部長の承認を受けなければならない。これを変更するときも同様とする。</p> <p>3 バックエンド技術部長は、前項の承認をしようとするときは、核燃料取扱主任者の同意を得なければならない。</p> <p>第4章 異常時の措置 第1節 (省略) 第2節 点検等において異常を認めた場合の措置 (巡視及び点検等において異常を認めた場合の措置) 第30条 放射性廃棄物管理第1課長、放射性廃棄物管理第2課長及び高減容処理技術課長は、第21条の作業開始前の点検、第22条の作業中の点検、第23条の作業終了後の点検、第24条の巡視及び点検の結果、異常を認めたときは、その原因及び状況を調査し、通常運転状態へ復旧させるための措置を講じなければならない。</p> <p>2～5 (省略) 第3節 (省略)</p> <p>第5章～第7章 (省略)</p> <p>別表第1～別表第18 (省略)</p>	<p>(3) <u>前号の点検において、軽微なさびが確認された容器は、さびの除去、容器への塗装等により補修する。</u></p> <p>(4) <u>第2号の点検において、著しいさびが確認された容器は、容器ごと新しい容器へ収納する。</u></p> <p>(5) <u>前各号の措置により健全性確認が終了した廃棄物パッケージ等は、第15条の規定に従って、保管廃棄する。</u></p> <p>6 <u>放射性廃棄物管理第1課長は、第3項第3号又は前項第2号の点検において容器が健全な状態であることが確認された廃棄物パッケージ等、第4項第4号又は前項第3号の補修を行った廃棄物パッケージ等を、倉庫式の保管廃棄施設である廃棄物保管棟・I、廃棄物保管棟・II又は解体分別保管棟に保管廃棄しなければならない。</u></p> <p>7 放射性廃棄物管理第1課長は、健全性確認を行うときは、<u>第3項第2号及び第5項第1号に定めるピットから廃棄物パッケージ等を取り出すときの措置を含む作業要領書を作成し、バックエンド技術部長の承認を受けなければならない。これを変更するときも同様とする。</u></p> <p>8 バックエンド技術部長は、前項の承認をしようとするときは、核燃料取扱主任者の同意を得なければならない。</p> <p>第4章 異常時の措置 第1節 (変更なし) 第2節 点検等において異常を認めた場合の措置 (巡視及び点検等において異常を認めた場合の措置) 第30条 放射性廃棄物管理第1課長、放射性廃棄物管理第2課長及び高減容処理技術課長は、第21条の作業開始前の点検、第22条の作業中の点検、第23条の作業終了後の点検、第24条の巡視及び点検の結果、<u>放射性廃棄物管理第1課長は、第28条の2の健全性確認における容器の点検の結果、異常を認めたときは、その原因及び状況を調査し、通常運転状態へ復旧させるための措置を講じなければならない。</u></p> <p>2～5 (変更なし) 第3節 (変更なし)</p> <p>第5章～第7章 (変更なし)</p> <p>別表第1～別表第18 (変更なし)</p>	<p>健全性確認後の廃棄物パッケージ等の保管廃棄場所を一部明確化 ピットから廃棄物パッケージ等を取り出すときの措置を含む作業要領書を作成することを明確化 記載の適正化</p> <p>健全性確認に係る記載の追加</p>

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定 新旧対照表【第3編 廃棄物処理場の管理】

変更前	変更後	備考									
<p>別図（省略）</p>	<p style="text-align: center;">別表第19 健全性確認の対象ピット（第28条の2関係）</p> <table border="1" data-bbox="1448 359 2594 898"> <thead> <tr> <th data-bbox="1448 359 1670 411">優先度区分</th> <th data-bbox="1670 359 2169 411">区分の考え方</th> <th data-bbox="2169 359 2594 411">ピット番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1448 411 1670 653">優先度区分A</td> <td data-bbox="1670 411 2169 653">保管廃棄した後に健全性確認を行っていないピットであって、湿潤な状態の放射性廃棄物を含む可能性のある廃棄物パッケージ等を保管しているピット</td> <td data-bbox="2169 411 2594 653">L-19、L-20、L-21、L-22、 L-24、L-25、L-26、L-27、 L-28、L-30、L-32、L-33、 L-34、L-36、L-37、L-39、 L-40</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1448 653 1670 898">優先度区分B</td> <td data-bbox="1670 653 2169 898">保管廃棄した後に健全性確認を行っていないピットであって、湿潤な状態の放射性廃棄物を含む可能性のない廃棄物パッケージ等を保管しているピット</td> <td data-bbox="2169 653 2594 898">L-38、L-41、L-42、L-43、 L-46、L-47、L-48、L-49、 L-50、L-51、L-53</td> </tr> </tbody> </table> <p>別図（変更なし）</p>	優先度区分	区分の考え方	ピット番号	優先度区分A	保管廃棄した後に健全性確認を行っていないピットであって、湿潤な状態の放射性廃棄物を含む可能性のある廃棄物パッケージ等を保管しているピット	L-19、L-20、L-21、L-22、 L-24、L-25、L-26、L-27、 L-28、L-30、L-32、L-33、 L-34、L-36、L-37、L-39、 L-40	優先度区分B	保管廃棄した後に健全性確認を行っていないピットであって、湿潤な状態の放射性廃棄物を含む可能性のない廃棄物パッケージ等を保管しているピット	L-38、L-41、L-42、L-43、 L-46、L-47、L-48、L-49、 L-50、L-51、L-53	<p>健全性確認の対象ピット及び優先度区分を示す表を追加</p>
優先度区分	区分の考え方	ピット番号									
優先度区分A	保管廃棄した後に健全性確認を行っていないピットであって、湿潤な状態の放射性廃棄物を含む可能性のある廃棄物パッケージ等を保管しているピット	L-19、L-20、L-21、L-22、 L-24、L-25、L-26、L-27、 L-28、L-30、L-32、L-33、 L-34、L-36、L-37、L-39、 L-40									
優先度区分B	保管廃棄した後に健全性確認を行っていないピットであって、湿潤な状態の放射性廃棄物を含む可能性のない廃棄物パッケージ等を保管しているピット	L-38、L-41、L-42、L-43、 L-46、L-47、L-48、L-49、 L-50、L-51、L-53									